

## 海外安全対策情報（平成30年1月～3月（平成29年度第4四半期））

### 1. 社会・治安情勢

イエメン各地で正統政府と反政府勢力の戦闘が継続し、国内の人道状況、経済状況の悪化が深刻化しています。2018年3月末現在、反政府勢力が首都サヌアを中心とする北部地域を実効支配する一方、イエメン正統政府はアデンを中心に南部地域を統治しています。

(1) 2015年3月26日以降、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導連合軍が正統政府を支援する形でイエメン全土にて軍事行動を展開。2018年3月末現在、サヌア県、サアダ、タイズ、マアリブ、ジョウフ、ハッジャ、シャブワ、ラヘジ、ホデイダ、ベイダ、サウジアラビア・イエメン国境地帯等で、空爆や戦闘が続いています。

(2) 南部地域では、「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP)および「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)戦闘員による軍事・治安基地、検問所への襲撃が頻発しました。治安部隊等はAQAP潜伏地域での掃討作戦を行い、米国はアビヤン県、シャブワ県、ベイダ県、マアリブ県等で、AQAPに対する無人機攻撃を継続しています。また、1月末、アデンでは正統政府軍と南部分離派との武力衝突が発生しました。

(3) 2017年4月末頃からコレラの感染が再び拡大し、国際機関によるワクチン接種等の医療活動が行われていますが、3月末現在も、イエメン各地で多数のコレラ感染者とコレラによる死者が報告されています。また、ジフテリア感染症による死者も報告されています。

### 2. テロ・爆弾事件等発生状況（空爆、戦闘を除く。）

(1) 1月3日、アデン県シャイク・オスマン地区のモスクで、男が自爆し市民1名が死亡。

(2) 1月10日、シャブワ県で、治安部隊の車両に対する自爆テロが発生し、少なくとも3名が死亡。

(3) 1月13日、ハドラマウト県セイユーン東部で、爆弾が爆発し、一般人1人が負傷。

(4) 1月23日、アデン市マンスーラ地区の南部人民抵抗軍幹部の自宅近くで、爆弾が爆発し、1名が死亡。

(5) 1月30日、シャブワ県ノハーン地区の検問所で、自爆テロが発生し14名が死亡。

(6) 2月4日、アビヤン県マハファド地区で、治安部隊指揮官の車両を狙った待ち伏せ攻撃があり、同人が負傷。

(7) 2月20日、アデン市内で、走行中の軍用車両を狙った爆発が発生し、兵士

1名が負傷。

(8) 2月24日、アデン県タワーヒー地区のアデン警察テロ対策本部で、自動車自爆テロが発生し、兵士2名が死亡、市民を含む53名が負傷。ISILが犯行声明を发出。

(9) 3月4日、アデン県マンスーラ地区で、内務省兵士2名が殺害され、ISIL関連グループが同犯行を撮影した動画を掲載。

(10) 3月13日、アデン市ディライン地区の治安ベルト部隊本部で、ISILが車両自爆テロ攻撃を行い、3名が死亡し、35名(うち子供1名)が負傷。

(11) 3月21日、ダーリア県内サナーハ市の路上で、爆発物が爆発し、市民3名が死亡。

(12) 3月27日、アデン県ホール・マクサル地区のアデン大学文学部の門で、ISIL分子が銃を乱射し、警備員1名が死亡、他1名が負傷。ISIL関連組織が犯行声明を发出。

(13) 3月27日、シャブワ県内で、シャブワ精鋭部隊車両を狙った爆発が発生し、同部隊兵士2名が死亡し、3名が負傷。

(14) 3月28日、ハドラマウト県ムカッラのバーラーア地区で、AQAP分子がハドラマウト精鋭部隊の軍用車両に対し待ち伏せ攻撃を行い、同部隊兵士10名が死亡。